

## 会 議 録

|       |  |
|-------|--|
| 会議の名称 | 令和元年度第3回天草市総合政策審議会   |
| 開催日時  | 令和2年1月14日(火) 13:30~15:30   |
| 開催場所  | 天草市役所 2階 庁議室   |
| 議長名   | 玉村 雅敏  |
| 出席者氏名 | 玉村会長、福本委員、野上委員、澤田委員、馬場委員、林委員、松浦委員、深川委員   |
| 欠席者氏名 | 井田副会長、中川委員   |
| 会議次第  | 1 開会<br>2 会長あいさつ<br>3 報告<br>(1) 令和元年度第2回天草市総合政策審議会の会議録について<br>4 議題<br>(1) 第2次天草市総合計画後期基本計画の改定について<br>(2) 天草市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略について<br>(3) 天草市SDGs推進計画について<br>5 その他<br>6 閉会 |

### 審 議 内 容

- 1 開会(事務局)
- 2 会長あいさつ
- 3 報告
  - (1) 令和元年度第2回天草市総合政策審議会の会議録について
    - 事務局より報告。
- 4 議題
  - (1) 第2次天草市総合計画後期基本計画の改定について(ジオパーク関連)
    - 事務局より説明。
    - (委員)
 

情報を集めるベース(基盤)となるものはどうなるのか。新たな箱物整備か。それとも、HPなどバーチャル的なものになるのか。今回の説明では分からなかった。
    - (事務局)
 

情報発信は、これまでは協議会で作成し、HP上で行ってきた。今後は、活動をされている個々の団体の情報をまとめ、その団体等と連携させていただき、広い範囲で情報発信を行っていきたいと考えている。
    - (委員)
 

イルカウォッチングだとイルカセンター、上天草だとミオカミーノといった施設ができており、天草市にもまた新たな建物ができるのか。観光協会との連携という形になるのか。

(事務局)

天草市には、イルカセンターがあり、また、改築後の御所浦白亜紀資料館などを今後、拠点として位置付けを行い、情報発信を行っていきたいと考えている。ただ、一つの拠点だけでの情報発信は難しいと考えており、たとえば、上天草市のガイダンスセンターや苓北町の富岡城内にあるビジターセンターなどを拠点とし、情報発信ができるよう協議を進めていきたい。

(委員)

これから進めていくのか。

(事務局)

これからの協議で進めていく。

(委員)

上天草市、苓北町を併せて、新たな組織を立ち上げて取り組むことになるのか。

(事務局)

そのとおりです。

(委員)

「海にうかぶ博物館」という名称を天草が主体となり、積極的に全国へ発信元として取り組んでいくという意味合いでいいのか。

(事務局)

ジオパークに取り組んでいる地域が全国に44地域ある。本市が脱退するにあたり、多数問い合わせもあり、ジオパークにおいて疑問を持っている団体も中にはあると考えている。決してジオパークを否定しているわけではなく、ジオパークでなくても天草をアピールできると考えている。他の地域でも賛同いただければ理解いただき、広げていきたいという気持ちがある。

(委員)

観光協会においても、天草だけでなく、他の島や離島などと連携した政策を考えている。そのようなところとも連携できれば広がっていくと思われる。

(委員)

前回の意見等も踏まえ、いいものが出来たと思われる。今回の計画では、天草独自の新たな活動として「海にうかぶ博物館」ということで、軸が明確に出来た。ぜひこのような活動をきっかけに全国的に広げていただければと思う。

(委員)

海だったら漁業者とレジャー関係者をうまく調整ができない部分もあり、民間では難しいところもある。今回の事業を通して行政が中に入ることで調和がとれ、みんなが喜べるものになると期待している。

また、自発して取り組みたいという若い人たちとの連携も期待したい。

(事務局)

現在は、それぞれの団体が個々に動いている状態。私たちからも積極的に声掛けをしていき、それをまとめ情報発信していくことが今回の取り組みの一つとなっている。

(会長)

当初の後期計画では「ジオパークの推進」として情報発信と交流人口の両方として取り組むとなっていたが、今回の計画の中で成果指標として交流人口のみとなっている。情報発信の図り方をどうするのか気になる。ジオパークの取り組みとして学校や社会教育などが収まっていたと思われる。部門連係が今後の活動計画の中に入るようお願いしたい。

(事務局)

情報発信(認知度)においても指標として出すことも内部的な協議の中で議論させていただいた。しかし、4月に新たな組織として動き出すということで、現段階で出すことにはあいまいさが出てくるということで、今回は、整理させていただいたところ。

(委員)

計画資料の(案)では、3年間の活動計画の全体的な動きはPDCAサイクルになると思う。評価の部分が見えてこないの、次に繋げるためにもぜひ必要と思われる。

(事務局)

PDCAサイクルは必要と考えている。今回の計画では出していないが、評価・検証に取り組んでいきたいと考えている。

## (2) 天草市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略について

### ○事務局より説明

(会長)

まち・ひと・しごと創生実践会議においても検討された内容。今審議会においては、天草市の総合計画との管理をしていく中で、総合計画の内容と合っているのかなどの観点からご意見をいただきたい。

(委員)

天草市では、いろいろな支援策に取り組まれているが、市民の方に伝わっていないと思われる。市の職員が表に出てぜひ情報発信してもらいたい。例えば、誘致企業支援や地元企業支援などもすばらしい事業があるが、市民や関係者でも全く知られていなかった。今後、移住者の方や地域おこし協力隊で来られている方などいろいろな方々の知恵も取り入れていってもらいたい。

(委員)

市民にとっては、最初に携わっていただくところが各課の担当者になる。以前、相談に行った際に、担当者の主観的な意見を言われることがあった。天草市の隅々の方まで同一の考え方が浸透していただく事を期待したい。

(事務局)

産業関係の支援施策においては、企業・各団体等とのいろいろな形での周知は行わせていただいているが、全体的には届いていないところと感じているところ。現在、経済部全体の取り組みをまとめたガイドブックの整備を進めており、市民への広報や出前講座等を開催するなど検討していきたい。

(委員)

税理士団体への周知は行われていないのか。各企業の相談は税理士へ行うこともあ

る。ぜひそのような団体へも周知していただければと思う。

(事務局)

ぜひ、税理士団体へも周知させていただく。その他にも周知したほうがいい団体等があれば随時教えていただきたい。

(会長)

働き方の多様化・複業化(複数の仕事)においては、次の総合戦略の5年間の中ではもっと多様化していくと思われる。例えば、移住者においても、Uターンにおいても一つの仕事だけではなく、複数の仕事ができるから天草に行きたいということにもつながる。この部分はどこでとらえられているのか。

(事務局)

「2. 天草への新しいひとの流れをつくる(移住・定住)」の「(2) 若者の地元定着に向けた支援等」の「(イ) 未来を支える人材育成」の「【具体的な事業】②天草未来人材育成・就職促進事業でのスキルアップ研修など新たな雇用の場の創出」の部分に含まれる。

(会長)

この観点は、もっと取り組んでもらいたい。例えば、子育てをされている方などが自分に合ったタイミングで仕事がいつでもできるのであれば、天草が選ばれてくる。いろんな地域も取り組んでいるので、世の中の動きも見据えながら天草らしさがあると、Uターン、Iターン者を引き付けることになると思う。総合戦略にも記載することが必要かもしれない。

(事務局)

「3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会をつくる」の「(1) 結婚支援及び妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援」の「(イ) 妊娠・出産から子育てへの支援サービスの充実」の「【具体的な事業】⑯働き方改革の支援や男女共同参画の推進」を切り口としていければと考えている。

(委員)

「未来を支える人材育成」など非常にいいと思う。今、女性活躍などでは、天草市出身の津田塾大学教授の方や宝塚で活躍されている方なども多くいらっしゃる。そのような方々へのアンケートや、活躍するための課題などのヒアリングを行い、それを市民に返す取り組みだけでもいいと思われる。また、実際に生涯学習で行われている教室などと連携するだけでもいい化学反応がおきると思うので、スピードを上げて取り入れてもらいたい。

(事務局)

関係人口になると思いますが、本市では、平成30年度に総務省の関係人口創出モデル事業「ふるさと天草元気プロジェクト事業」の採択を受け、天草出身者に登録いただき、具現化し、ふるさとマッチング制度の創設などをはじめたところ。今後のつながりをつけていくための取り組みとして、「里帰りセミナー」などの仕掛けをはじめ、このような機会を通じ、天草の方にふるさと住民としての自分のスキルや経験を知ってもらい、地域とのつながり作り、将来の移住・定住に広げていければと考えている。

(委員)

素晴らしい取り組みだと思う。

天草では、子ども達が学べる環境がなく、天草から出ていく決断をする子もいる。このような方々とマッチングし、ぜひ天草で教室を開いていただき、逆に天草に子ども達が留学してきてもらうような取り組みができるのではないかと思います。

(会長)

関係人口は、第2期にとって大切なテーマだと思う。ただ、現状の説明では総花的で、どこでもありそうなものになっている。地域に関わりたい方は、その地域の特色をよく調べている。戦略なので、もっともっと尖った、天草らしい特色をもっと表現されると良い。また、第2期ではUターンが重要なテーマ。出身者との関わりを戦略の中に取り入れていくことも重要。ぜひ戦略として位置づけたい。

(委員)

移住者へ「なぜ天草に移住してきたか」アンケートなど行われているのか。

(事務局)

アンケート結果では、「天草の自然環境」、「実際地域に入っただけの魅力を感じた」や「人」といった回答が多い。

(委員)

天草でも仕事が十分できるという人が多いのか。天草で就職を探したり、起業をされる人がいるのか。

(事務局)

カフェやレストハウスなどを開く方もいらっしゃる。しかし、就業したい人もおり、実際ハローワークで探すなどされている。移住相談会の際には、具体的な内容を提示されることもあり、その際は後日斡旋するなど対応も行っている。

(委員)

企業とのマッチングが行われていなければ、ぜひマッチングする場を考えていただきたい。

(事務局)

移住フェアなどでは、取り組んでおり、今後も継続していきたい。

(委員)

高校生がまちづくりに携わる取り組みをされているが、時間の制限がある。ぜひ、授業のカリキュラムに取り入れてもらうなどできないか。天草を担う子ども達の育成にもつながっていくと思う。

(事務局)

現在、天草拓心高校と本渡まちづくり協議会、市が連携し、まずは部活動として取り組みをはじめたところ。市としても進めていきたいと考えている。

(委員)

東京から天草に来て10年が経つ。天草は子育てがしやすい地域であり、仕事の関係もあるが現在も残っている。次は子どもの教育にステップしていく。天草の学校でも具体的ないい取り組みが行われているので、ぜひアピールポイントとして出していくこと

で移住にも繋がっていくと思う。

また、結婚・出産・子育てだけでなく、若者にはいろいろな価値観もある。いろいろなことを受け入れられる天草市になってもらうことを期待したい。

(会長)

市として天草の学校の取り組みをどのように情報発信していくのか。

(事務局)

例として、アメリカエンシニタス市との姉妹都市交流として中学生の交流を行っている。予算の関係もあり生徒の選考を行い実施しているが、体験いただいた生徒には各学校での発表による生徒への発信、また、報告書を作成し、市HPに掲載を行っている。他にも市独自の事業もあるため、情報発信を進めていきたい。

(会長)

第2新卒者の地元就職者数が目標KPIとして設定されている。ぜひ、上方修正できるよう頑張ってもらいたい。

(委員)

20～40歳代の子育て女性の仕事は、医療・福祉系が多い。仕事と生活をうまく回していくためには、実際相談を受けているが、多くの困りごとがある。働き方と育児の好循環につながるような取り組みを考えてもらいたい。

(事務局)

現在は職種に限った取り組みではなく、全体的な取り組みを行っている。実際、子育ての面において多くのメニューを取り入れている。今回、働き方改革もキーワードとして入れており、今後どのように民間にアピールしていくか、皆さんからの意見をいただきながら進めていきたいと考えている。

(事務局)

現在、子育て支援計画を策定中。本市では、パートで働く女性も多く、事業所やお母さん方の状況調査を踏まえ、今後の課題として対策を検討していきたい。

(委員)

私自身、出張等の場合、ベビーシッターにお願いしている。このような整備はまだ東京でも行われていない。子どもをどのように預け、自分が働くワークスタイルを保つか。課題の一つと思う。

また、今回、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会をつくる」と記載されたことは、大きな第一歩だと思う。これから課題を一つ一つ解決できれば本当にいい天草に進んでいくと思う。

(委員)

「住みよさランキング 安心度 全国1位」と記載されているが、これは、多くの項目の総合点で順位付けされており、もう少し丁寧な書き方がいいのではないか。

(事務局)

誤解をうけないような表記を考えていきたい。

### (3) 天草市SDGs推進計画について

○事務局より説明

(会長)

本来は大変な策定であったはずだが、専門部会の蓄積からつくることができた。総合計画を中心に計画群をみていて、現状の分析などもしてきたからで、素晴らしいこと。

SDGs 17のゴールごとに整理するページは必要。市がどのように取り組んでいるかを毎年説明できるように取り組んでもらいたい。

また、総合計画の評価をする際に、SDGsの観点も含めて各専門部門では点検をしてもらいたい。

(事務局)

ゴールごと、ターゲットごとの表現も検討したが、まずは、総合計画がSDGsにどのようにつながっているかを職員に意識する第1ステップの資料として今回は作成を行った。

(委員)

この資料は公表される予定か。

(事務局)

まずは、職員向けとして作成を行った。取り組み状況で変更も考えられるため、今後、検討していきたい。

5 その他 (なし)

(会長)

それではこれもちまして本日の審議会を終了します。ありがとうございました。

以上